

## 安全データシート (SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : SA-18Pプレミアム シュ  
 製品コード : SA90084

会社名 : マックス株式会社  
 住所 : 群馬県佐波郡玉村町川井1848  
 担当部門 : 環境・品質保証部 品質統括G  
 電話番号 : 0270-65-1381  
 推奨用途及び使用上の制限 : スタンプインキ

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分外
健康に対する有害性	: 急性毒性 (経口)	区分外
	: 急性毒性 (経皮)	分類できない
	: 急性毒性 (吸入: 気体)	分類できない
	: 急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
	: 急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
	: 皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない
	: 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2A
	: 呼吸器感作性	分類できない
	: 皮膚感作性	分類できない
	: 生殖細胞変異原性	分類できない
	: 発がん性	区分外
	: 生殖毒性	分類できない
	: 特定標的臓器毒性、単回ばく露	区分2 (中枢神経系)
: 特定標的臓器毒性、反復ばく露	分類できない	
: 吸引性呼吸器有害性	分類できない	
環境に対する有害性	: 水生環境有害性 (急性)	分類できない
	: 水生環境有害性 (慢性)	分類できない
	: オゾン層への有害性	分類できない

## GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告  
 危険有害性情報 : 強い眼刺激・中枢神経障害のおそれ。  
 注意書き :

## 【安全対策】

取り扱いは火気がなく、換気の良いところで行って下さい。  
 手袋、エプロン、ゴーグル等を着用する。  
 漏出に注意し、容器等のフタはこまめに閉める。  
 容器からこぼれた場合にはウエスでふき取る。  
 火災時には炭酸ガス、粉末消火器を用いてください。

## 【救急処置】

目に入った場合は直ちに水で15分以上洗浄し、医師の手当てを受ける。  
 皮膚に付着した場合は石鹸で洗い多量の水で洗う。  
 痛みがある場合は医師の手当てを受ける。

通常は吸入の危険性はないが、高温下で蒸気を吸入した場合は患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、速やかに医師の手当てを受ける。飲み込んだ場合は多量の水を飲ませ直ちに医師の手当てを受ける。意識がない場合は無理に吐き出させない。

**【保管】**

容器は密閉し、高温を避け保管する。火気厳禁

**【廃棄】**

製品の廃棄には法令に従ってください。

国・地域情報 : 消防法危険物4類第3石油類非水溶性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有率	CASNo.	官法公示整理番号
モノアゾ顔料	6-8%	非開示	非開示
バインダー樹脂	4-5%	非開示	非開示
ポリオキシアルキレン系溶剤	72-74%	非開示	非開示
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	14-15%	112-34-5	2-422

4. 応急措置

- 吸入した場合 : ただちに新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じ医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水及び石鹼で洗い落とす。水痘痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じ医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。医師の手当、診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 泡、粉末、二酸化炭素が有効である。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災によっては、刺激性、毒性のガスを発生させるおそれがある。
- 特有の消火方法 : 消火作業は風上から行う。周辺の設備に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合処理が終わるまで必要に応じ換気を行う。  
漏出した場合は周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入り禁止する。こぼれた場合は滑りやすいので注意する。作業に際しては保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏れを止める。少量の場合は、吸収剤（おがくず・土・砂・ウエスなど）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾でよく拭き取る。大量の場合は、土砂など（の不燃物）で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引機などで空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取除く。（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局部排気・全体換気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局部排気、全体換気を行う。

注意事項 : 漏れ、あふれ、飛散しないようにし注意する。

高温物、スパーク、火炎を避け、強酸化剤との接触を避ける。

安全取扱注意事項 : 火気注意。接触、吸入又は飲み込まないこと。目との接触を避ける。

ミスト、蒸気を吸入しないこと。取扱い後は良く手を洗うこと。

接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

## 保管

安全な保管条件 : 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

「10. 安定性及び反応性」を参照。

酸化剤から離して保管すること。換気の良い湯所で保管すること。

安全な容器包装材料 : 本製品は、他の容器包装へ移し変えて保管することを意図されていません。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 : ACGIH (2005年版) 設定されていない

日本産業衛生学会 (2005年版) 設定されていない

設備対策 : 屋内作業所での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置することが望ましい。取り扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼設備を設け、位置を明瞭に表示する。

## 保護具

呼吸用保護具 : 状況に応じ、有機溶剤用マスク等を使用。

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

目の保護具 : 側板付保護眼鏡 (必要にゴーグル型又は全面保護眼鏡)

皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止機能を有する、長袖の保護衣及び安全靴

## 9. 物理的及び化学的性質

## 外観 (物理的状态、形状、色など)

物理的状态 : ペースト

色 : 朱

臭い : 微臭

pH : データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲 : なし (分解)

引火点 : 117℃以上 (クリーブランド開放式)

蒸発速度 : データなし

爆発範囲 : データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 (空気 = 1) : データなし

比重 : 約1.0-1.05

溶解度 : 水に不溶

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

自然発火温度 : データなし

分解温度 : データなし

粘度 : 800-1200mPa·s (20℃)

## 1 0. 安定性及び反応性

反応性	: 知見なし
化学的安定性	: 高温、高圧を加えない一般的状态では安定である。
危険有害反応可能性	: 高温、高圧を加えない一般的状态では安定である。
避けるべき条件	: 高温、高圧。
混触危険物	: データなし
危険有害な分解生成物	: 燃焼により二酸化炭素及び一酸化炭素を生成する可能性。

## 1 1. 有害性情報

急性毒性	: LD50 (経口) ラット 2410mg/kg (区分外) (ポリオキシアルキレングリコール) LD50 (経口) ラット >5000mg/kg (区分外) (ジエチレングリコールモノブチルエーテル) 国連勧告区分5 JIS区分外
	: LD50 (経皮) データなし (分類できない)
	: LC50 (吸入) データなし (分類できない)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 繰り返し接触すると軽い炎症を起こすがデータ不足で分類できない。(分類できない)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: ジエチレングリコールモノブチルエーテルがniteの分類で中程度の刺激があるとされ、区分2に分類されているので、区分2Aとした。(区分2A)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし (分類できない)
生殖細胞変異原性	: データなし (分類できない)
発がん性	: IARC、ACGIHにリストアップされていない (区分外)
生殖毒性	: 知見なし (分類できない)
特定標的臓器毒性、単回ばく露	: ジエチレングリコールモノブチルエーテルがniteの分類で中枢神経症状が区分2に分類されている。(区分2)
特定標的臓器毒性、反復ばく露	: データなし (分類できない)
吸引性呼吸器有害性	: データなし (分類できない)

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性	: 知見なし
残留性・分解性	: 知見なし
生体蓄積性	: 知見なし
土壌中の移動性	: 知見なし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の附属書に列記されていない (分類できない)

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。 焼却する場合は、排ガス洗浄装置を備えた焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。この物質が河川、湖沼、海域、下水等に排出されないよう十分に注意する。
汚染容器・包装	: 空容器を廃棄する場合は、内容物をできるだけ除去後に処分する。 これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてからでないと排出してはならない。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。

---

#### 1 4. 輸送上の注意

国際規制 : IMDG、IATAの規則に従う。

国連番号 : 該当しない

国連分類 : 該当しない

国内規制

陸上輸送 : 消防法の基準に従い積載・運搬を行う。

輸送の特定の安全対策及び条件

: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

---

#### 1 5. 適用法令

労働安全衛生

通知対象物質 : 該当しない

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）

第一種／第二種指定化学物質

: 該当しない

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

消防法 : 危険物第4類第4石油類

---

#### 1 6. その他の情報

- 本データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保する為の参考情報として提供されるものです。
- 本データシートを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。
- 本データシートに記載された内容は、現時点で入手出来た情報やメーカー所有の知見によるものです。また、内容は法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。
- 本データシートは、安全性の保証をするものではありません。
- 本データシートは日本国内法令を基準に作成したものであり、日本国外に適用するものではありません。